

第58回研修会 見学研修会開催



平成20年12月4日、48名のご参加のもと、第58回研修会 見学研修会を開催しました。環境情報交換会等でお知らせしていますように、来年7月から滋賀県のPCB廃棄物の処理が開始されることから、PCB廃棄物を所有される会員様には特に関心が高い、PCB廃棄物処理施設 JESCO 日本環境安全事業株式会社と廃蛍光管処理の野村興産株式会社、アサヒビール吹田工場を見学しました。

今回、受け入れていただく方のご都合で、定員が限られており、1社1名ということで、皆様にはご無理お聞きいただきましたが、内容についてはご満足いただける研修会でした。

1. JESCO 日本環境安全事業株式会社

この処理施設は平成18年10月より稼働しており、重量10kg以上のトランス、コンデンサー、高濃度のPCB油類を処理しています。

施設は前処理する西棟と液を処理する東棟の2棟からなっていました。

まず、西棟でトランス、大型コンデンサーから抜油し、予備洗浄、解体・分別、真空超音波洗浄し、PCBと鉄・銅線等に分別し、回収されたPCBはトラックで東棟に運ばれ、二つの大きなタンクに入れられ、パラジウムカーボンと水素で脱塩素化反応により、塩酸、ビフェニルに分解していました。1日のPCBの分解量は2t、平成28年7月にすべての処理を終了後、この施設は解体されるそうです。



現在は大阪府内の事業所が所有しているPCBを優先に処理されており、来年より少量保管者(30台未満)で予約登録の早いところから説明会開催後、滋賀県は7月から処理が開始されます。まだ予約されていない方はPCB廃棄物を一生持ち続けなくてもよいように早めに予約してください。



以下見学後に出されたQ&Aです。

Q1: 来年、何番までの予約番号を処理してくれますか?

A1: 滋賀県は7月に1月間の予定で処理します。

予約番号が1万番以下でしたら、来年中に処理ができる見込みです。

Q2: 試薬は対象になりますか?

A2: 対象になります。

Q3: 収集運搬時のインナートレーは排出者が準備するのですか?

A3: 収集運搬者が準備します。

Q4: 滋賀県の収集運搬業者は教えてくださいませんか?

A4: JESCO 日本環境安全事業株式会社のホームページに掲載しています。

Q5: 平成 28 年 7 月に近畿の PCB 廃棄物を全部処理終了は可能ですか?

A5: その予定です。

Q6: 処分費の支払いはいつごろするのですか?

A6: 契約と同時に請求しますので、前払いをお願いします。

Q7: 処理できる対象は?

A7: 10 キロ以上のトランスやコンデンサーで、40 万 ppm 以上の高濃度のものです。ウエスは扱っていません。

Q8: 低濃度とは?

A8: 0.5ppm 以上 40 万 ppm 以下です。

Q9: 保管容器に決まりはありますか?

A9: 金属、ガラス、陶器のみです。

2. 野村興産株式会社

平成 16 年 1 月稼働。使用済みの蛍光灯を年間 4500 トン処理しています。廃蛍光管はガラスと口金に選別され、ガラスは細かくして洗浄し、ガラスカレットにして、ガラスウール材料へと出荷、水銀を含有する物質と口金は、北海道のイトムカ鉱業所に搬送し高純度の水銀として再資源化されるとのことでした。



※皆様大変お忙しいところ見学研修会にご参加いただきありがとうございました。研修会の詳しい内容は湖南・甲賀環境協会 平成 21 年 1 月 15 日発行予定の機関誌「こなん 78 号」に掲載予定しています。

なお今後の研修事業について皆様のご要望等ございましたら、ご遠慮なく湖南・甲賀環境協会 事務局までご連絡をお願いします。

湖南・甲賀環境協会 事務局